

2025年度
短期留学成果報告書

| 学年 | 専攻 (楽器等名) | 留学先 | 期間 |
|---|----------------|------------------------|-------------|
| 3 | MLA専攻ピアノ演奏家コース | ハノーファー音楽演劇メディア大学 (ドイツ) | 11/14-12/22 |
| 1. 実施概要(具体的に) | | | |
| <p>大学では、5人の教授からほぼ毎日のようにレッスンを受けるという非常に密度の高い学習環境に身を置くことができた。自ら積極的に連絡を取り、レッスン中も反応良く主体的に取り組むことで、その姿勢に応じてより深く、多くのことを教えていただけたと感じている。現地の学生との交流や公開レッスンへの参加、さらに現地学生との室内楽コンサートへの出演を通じて、実践的な経験も積むことができた。大学内ではほぼ毎日のようにコンサートが開催されており、学生は無料で演奏を鑑賞できる環境にあり、音楽が日常に溶け込んだ生活を送ることができた。また、異文化や異なる価値観の中で生活することで適応力が鍛えられたほか、ケルン、ボン、ブレーメン、デュッセルドルフ、フランクフルトなど他都市にも積極的に足を運び、音楽面だけでなく文化的な理解も深めた。日本人に限らず国際的な人脈を築けたことも、本留学の大きな特徴である。</p> | | | |
| 2. 留学を通じて自身が得た成果 | | | |
| <p>判断力、行動力、決断力、語学力に加え、精神力や体力も大きく成長したと感じている。音楽においても物事への向き合い方においても、新たな価値観を得ることができたのは非常に大きな成果であった。5人の指導者から学んだ音楽観はいずれも刺激的であり、学生という立場を超えて音楽を愛する者同士として向き合われていると感じた点が、特に印象に残っている。また、現地での生活を通して、人との関わり方についても多くを学んだ。困難な状況に直面しても、自分から誠実に行動していれば周囲が支えてくれる場面が多くあった。その経験から、予期せぬトラブルに対しても過度に不安を感じることなく、状況を整理しながら対処できるようになり、精神的な強さと柔軟さが身についたと感じている。日本の利便性やおもてなしの心、几帳面さといった良さも改めて実感した。しかし同時に、それらが時に生き方や価値観を固定化してしまう側面もあることに気づいた。留学を通して、日本的な「こうあるべき」という考え方から少し距離を置き、多様な生き方を肯定できるようになった。一度しかない人生だからこそ、自分自身が納得できる選択を重ねていくことが大切だと考えるようになり、この価値観は今後の人生に大きな影響を与えるものだと感じている。</p> | | | |
| 3. 反省点 | | | |
| <p>ドイツ語については、事前に読み書きを中心に学習していたものの、実際の生活では会話力や聞き取りの力が圧倒的に重要であることを実感した。日常生活自体は英語でも大きな支障はなかったが、学生や現地の人々との交流をより深めるためには、ドイツ語での会話ができれば、さらに多くの機会が得られたのではないかと感じている。また、ホームステイという生活形態の中で環境に慣れ始めた時期に、生活リズムや住環境が留学生活に与える影響について考えるようになった。体調を崩すことはなかったが、通学に時間を要する環境であったこともあり、留学生生活を安定して送るためには、住居の立地を含めた生活面の準備が重要であると感じた。</p> | | | |
| 4. 今後の参加者に伝えたいこと(持ち物、事前学習等) | | | |
| <p>留学生生活を充実させたいという意識を常に持ち続けることが重要だと感じた。現地では予期せぬ出来事が起こることを前提に、状況に応じて柔軟に対応する姿勢が求められる。そうした中でも、簡単には諦めずに向き合う気持ちと、それを支える体力があれば、多くの経験を前向きに受け止めることができると感じた。また、現地での生活には安定したインターネット環境が欠かせない。通信量に余裕のあるデータ通信サービスを事前に準備しておくことで、トラブル時にも安心して行動することができる。実際に通信が制限された際には、生活全体に大きな支障が出ることを実感した。交通面では、ドイツは車社会であり、移動手段としては車を利用するのが最も効率的だと感じた。しかし、短期留学の場合は現実的に公共交通機関、特に電車を利用する場面が多くなる。電車代は遠出の予定がなくても高額になりやすいため、1か月単位で利用できるDB(ドイツ鉄道)の定期券を購入しておくことで、日常の移動がしやすくなった。大幅な遅延が発生することも多いが、定期券があることで費用を気にせず行動でき、さまざまな場所に足を運ぶ余裕が生まれた。さらに、水道水が飲める環境であるため、水筒を持参すると役立つ。ドイツ発祥のケバブサンドをはじめとした現地の食文化にも触れることで、留学生活がより印象深いものになるだろう。</p> | | | |